



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 主催

SPODフォーラム2009

SPOD フォーラム高知大学提供ワークショップ

授業進度を落とさずアクティブラーニング

TBL (Team Based Learning, チーム基盤学習) の実際

～高知大学の事例より～

日時：平成21年9月9日(水)15:30～17:30

会場：愛媛大学 城北キャンパス愛大ミュージアム 1階 学生活動スペース(2)

担 当  高知大学総合教育センター・大学教育創造部門

立川 明

本日のメニュー

1. なぜアクティブラーニングが必要か？
2. TBLの実際(ワークショップ)
3. グループ活動支援
4. 成績評価
5. TBLと課題探求学習の比較



高知大学総合教育センター 立川

本日の目標

1. 自分の授業にTBLを導入した場合の授業の進め方がわかること。
2. 非アクティブラーニング型授業や従来型PBLと比較して、TBL授業の利点が具体的に3つ以上あげられること。
3. アクティブラーニングの7つ道具を自分でそろえられること。

ニックネームを決めよう！

- 自分のネームカードを取る
- このセッション用のニックネームを決める
- カードに書き込む
 - パッと見える大きさで
- 隣の人にニックネームで自己紹介
 - なぜそのニックネームにしたの？

 高知大学総合教育センター 立川



1. なぜアクティブラーニングが必要か？

1. 学力低下
2. 学習歴の多様化
3. 学習障害のある学生の入学
4. 大学教員の大衆化
5. FDの義務化

FD 効果の測定 → 学生による授業評価
→ 授業評価を良くするための改善



真の目的は何か？

1. なぜアクティブラーニングが必要か？

その授業改善正解ですか？

授業改善は何のため？

授業改善の結果授業評価アンケートが良くなる
でも成績が下がった

1. なぜアクティブラーニングが必要か？

時間外学習の実際

東京大学調査(2007)

授業に関連した時間外学習

0時間 12.4%
0～5時間 52.4%
6時間以上 31.8%

独自の学習

0時間 38.6%
0～5時間 38.8%
6時間以上 23.9%

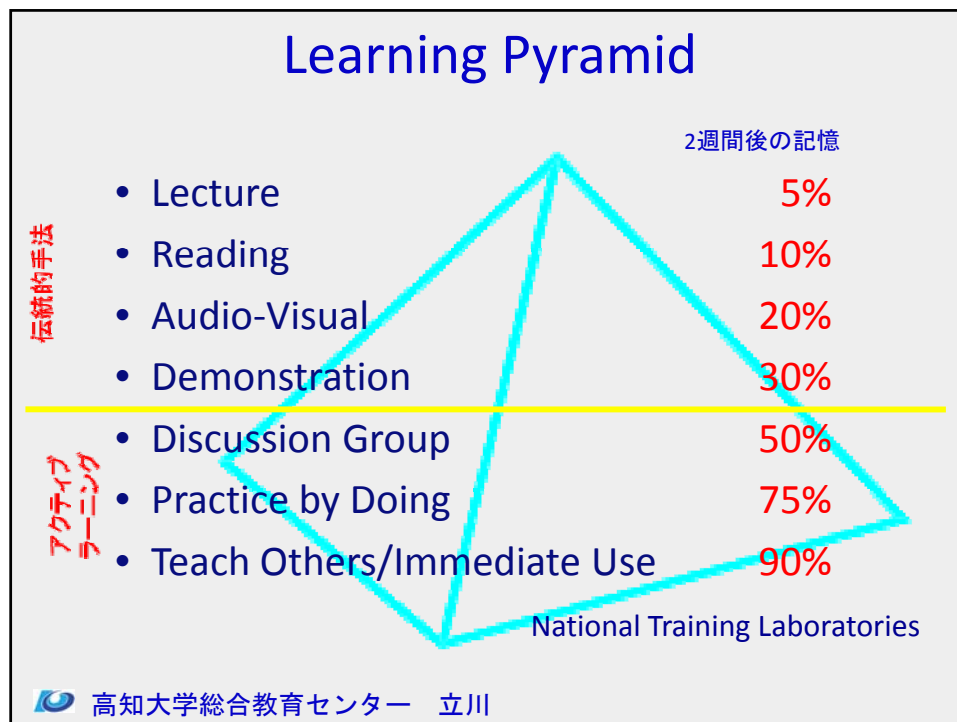
1日平均1時間未満

40%近く全くせず

1. なぜアクティブラーニングが必要か？

良い授業とは

受講生が「力」を付ける授業



1. なぜアクティブラーニングが必要か？

教員：教える・・・内容を良く記憶している
勘違いをしている

- ・講義こそ最も効率の良い教授法
- ・話したことは正確に伝わっている

学生：教わる・・・内容を良く記憶していない

1. なぜアクティブラーニングが必要か？

良い授業とは
受講生が「力」を付ける



効率の良い授業とは
アクティブラーニング

but 消化量に不安

2. TBLの実際

- 1) シラバスへの具体的な記載
- 2) グループ作り
- 3) 準備学習
- 4) IRAT(個別準備確認試験)
- 5) GRAT(グループ準備確認試験)
- 6) アピール
- 7) 応用課題

2. TBLの実際

1) シラバスへの具体的な記載

- ・具体的な目標

例: 教科書に出てくる化合物のIUPAC名を英語で正しく記述できる。

- ・RATの計画を予め知らせる

配付資料1, 授業計画

2. TBLの実際

2) グループ作り

情報処理習熟度調査(配付資料2)

点数順に並びナンバーコール

男女比も重要

* チーム編成に根拠があった方がよい

* 学期中固定

* 本日は所属のみで決めます

2. TBLの実際

3) 準備学習

スケジュールに従って予習をしてくる

*** 時間外学習の確保**

2. TBLの実際

4) IRAT(個別準備確認試験) WS

Readiness Assurance Test

配付資料3

*** 制限時間 10 分**

時間は決めるただし緩く

2. TBLの実際

5) GRAT(グループ準備確認試験) WS

配付資料4

*** 制限時間 20 分**

時間は決めるが様子を見ながら

ルール: 1問目に正解したチームのみ2問目に移れる

1問の解答機会は三回まで

*** 解答が決まったチームは知らせてください**

2. TBLの実際

良い試験問題とは

正解を選ぶ問題 **positive one**

最も適当なものを選ぶ問題 **best one**

まぎらわしい問題が議論を活発化

答えは必ず予習範囲にある

2. TBLの実際

6) アピール

- * 納得いかない問題について, その理由(自分たちの妥当性)を, 文章で申告
- * 認められた場合申告したチームのみ +1 点

RAT が進化するしかけ

2. TBLの実際

7) 応用課題

- * 同時に解答
- * チーム間の競争



学習意欲を維持するしかけ

2. TBLの実際

7) 応用課題 WS

配付資料5の内容で, RATの問題を1問作る
(模造紙)

- * 問題1問
- * 選択肢4つ
- * 解答が必ず教科書の中にある
- * 制限時間 20 分

2. TBLの実際

7) 応用課題相互評価 WS

- * 他チームの問題を見て気付いたこと, コメントを付箋紙に書いて貼り付ける
- * 自チーム以外の問題でベスト1を選ぶ
(模造紙にシールを貼る)

2. TBLの実際

7) グループワークの準備

そろえておくと良い七つ道具

PROCKEY(臭くない)
ホワイトボードマーカー
コミュニケーションボード
クリップボード
付箋紙(Post-it)
コイン
カード(A,B,C,D)

藍,	青,	赤,
桃,	緑,	紫,
茶		

3. グループ活動支援

ファシリテーション

- ・facilitation 容易にすること。
- ・グループ活動では議論が活発になることを教員が支援する。

よく観察し、必要なら支援をする。

(例)ノート作成担当や進行担当を決めるなど

4. 成績評価

IRAT, GRAT

・グループからチームへ

IRAT と GRAT の比率を 3:7

グループ活動への貢献意欲を維持するしくみ

RAT の成績を全体の 60%

5. TBL と PBL

	TBL	PBL
進度のコントロール	可能	不可能
知識の量	多い	少ない
チーム数/教員数	大	小
チームビルディング	不要	必要
介入の必要	少	多
グループワーク	授業中	時間外

- ・グループの抱える問題点を教員が発見しやすい
- ・学習障害のある学生にも可能性

5. TBL と PBL

	TBL	PBL
資料	事前配付	
RAT	必要	不要
課題	教員	受講生
能力開発	知識の獲得, 論理的思考力等	課題発見力, 課題解決力等

本日の目標

1. 自分の授業にTBLを導入した場合の授業の進め方が**わかった**。
2. 非アクティブラーニング型授業や従来型PBLと比較して, TBL授業の利点が具体的に3つ以上**あげられる**。
3. アクティブラーニングの7つ道具を自分で**そろえられる**。